

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
I Tスペシャリスト科 (システム専攻/モバイルアプリ専攻)											
システム監査											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	高橋			実務 経験	有	職種	システムコンサルタント				
授業概要											
情報システムを監査する立場として、リスクや問題点を分析する知識や技法を学びます。											
到達目標											
高度IT人材として確立した専門分野をもち、監査対象から独立した立場で、情報システムや組込みシステムを総合的に点検・評価・検証して、監査報告の利用者に情報システムのガバナンス、マネジメント、コントロールの適切性などに対する保証を与える、又は改善のための助言を行う者を育成する。経営方針に基づいた監査計画の立案から、第三者的な視点で情報システムを点検・評価・改善点の報告・要求などを行える人材を目指す。											
授業方法											
この授業では、システム監査について学ぶ。どんな業種でも情報システムは必須であり、現代の企業は情報管理にまつわるリスクと常に隣り合わせの状態であると言えます。情報漏洩は企業にとって非常に大きな打撃となる。リスクを生む部分を定期的に丁寧に監査することで、未然に防ぐ術を身に付ける。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。自分でも、情報を収集し、システム監査について調べる。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション（システム監査とは何かを理解する）										
第2回	監査範囲とテーマ（監査目的に合わせて自由に範囲を決め、テーマを設定できる）										
第3回	予備調査（本調査の前に、監査に必要な書類やチェックリストを作成する）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
I Tスペシャリスト科 (システム専攻/モバイルアプリ専攻)	
システム監査	
第4回	本調査（監査範囲の責任者との面談や関連する管理記録のチェック、システム機能の確認などができる）
第5回	監査報告書の作成（結果を経営者や部門ごとの責任者に公表するために報告書を作成する）
第6回	意見交換会（監査対象範囲の責任者と面談し、報告書の内容に誤認や意見がないかを聞き取る）
第7回	監査報告会（完成したシステム監査報告書の内容を経営者に説明する）
第8回	フォローアップ（監査時に判明した問題点が改善されているか確認し、場合によっては改善のためのアドバイスを行う）
第9回	管理ルールの適用状況評価（会社が定めた規程・基準等が適切なものとなっているか評価できる）
第10回	プロジェクトの運用状況評価（品質・コスト・納期の3つを満たすプロジェクト管理になっているかを評価できる）
第11回	システム障害の対応策策定（システム障害の対応策は必要な関係者との意見調整に基づいて策定されているか評価できる）
第12回	IT戦略の策定プロセスの評価（IT戦略および計画がその企業の戦略に基づいて策定されているか評価できる）
第13回	情報セキュリティー管理体制の評価（定期的に見直しが必要な情報セキュリティーポリシーに不足がないか評価できる）
第14回	委託業務の管理体制の評価（委託業務を遂行するために必要な管理手続きが整備され、有効に運用されているか評価できる）
第15回	データの完全性評価（システム上のデータの完全性、システム間のデータ整合性など、ツールを用いて検証・評価できる）